

## 2023年度(令和5年度)卒業生の成長実感・満足度調査結果・分析

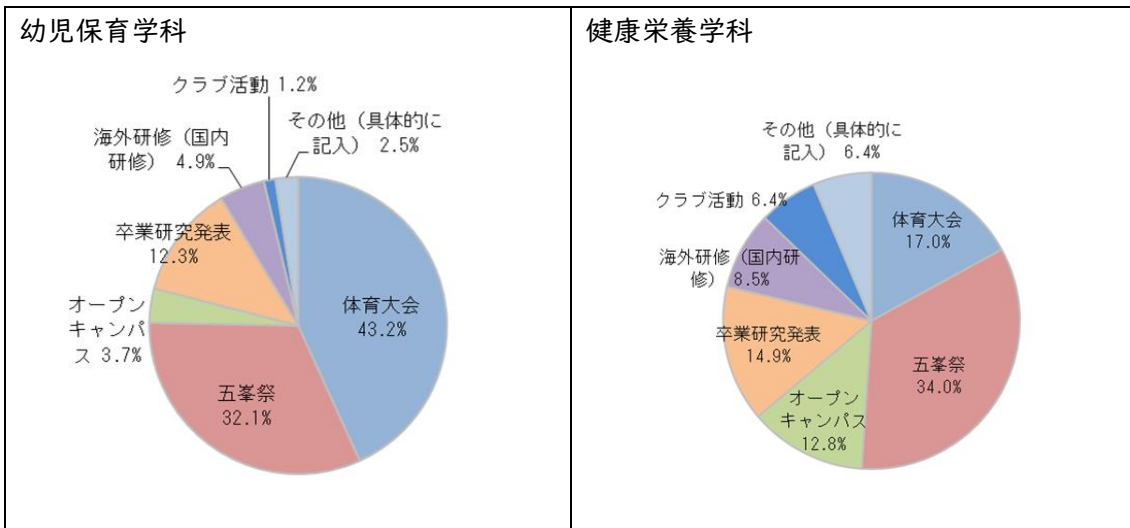
本調査は、2023年度(令和5年度卒業生)の卒業年次の成長実感・満足度を卒業直前に調査し、学科の動向を比較するとともに、学修成果獲得実感度合いを把握し、本学教育内容の一層の充実向上に資するものである。

調査実施日:令和6年3月13日

対象者:147名(令和5年度卒業生)

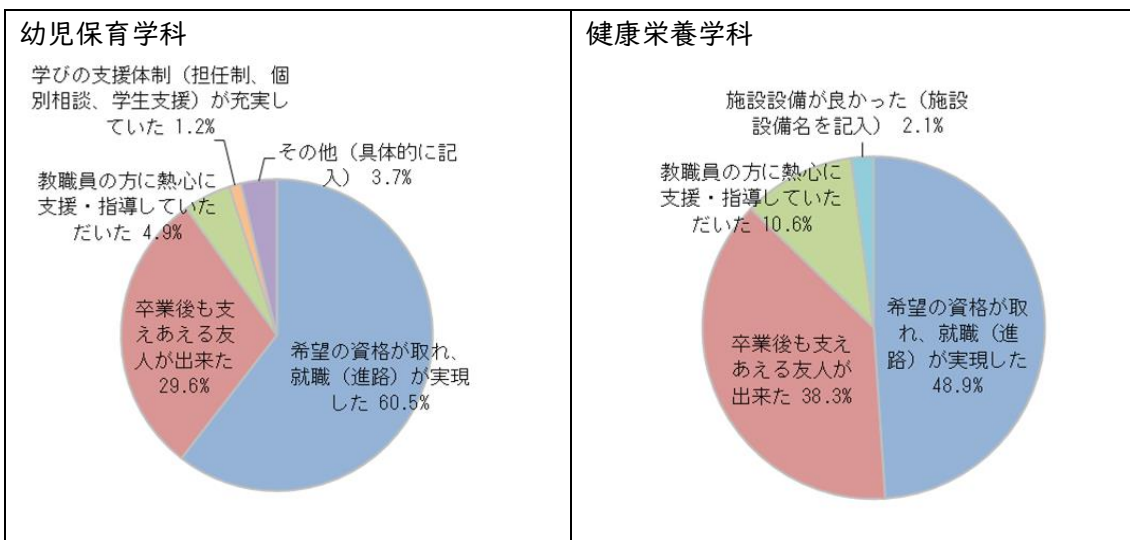
回答者数:128名(回答率87.1%)

### 1. やりがいがあり、達成感を感じたものは何ですか。



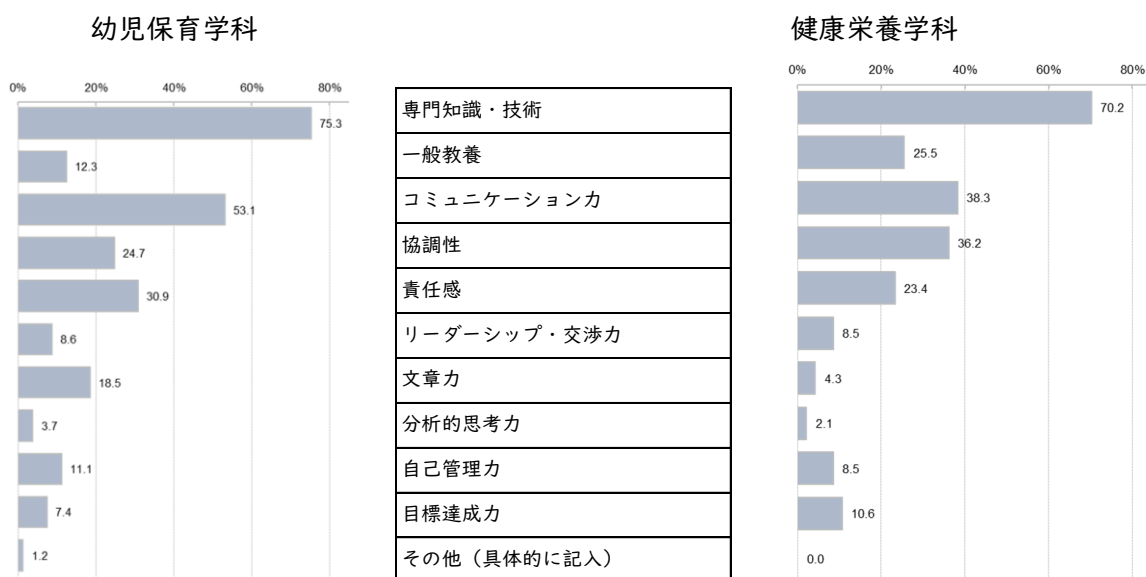
コロナ5類移行に伴い、学内外での全学科全学年にわたる活動を再開できた。体育大会・五峯祭では、チームワークやリーダーシップの力をつけることができた実感した者が多かった。また、各行事・活動において責任者やまとめ役を担当することにより人間的に成長できたとの声が多く、主体的に学内外の他者とかかわる学びに一層力をいれていく。

### 2. 学生生活を振り返って特によかったことは何ですか。



「希望の資格が取得でき、就職が実現した」「卒業後も支えあえる友人ができた」が両学科ともに上位であった。

### 3. 大学生活の中で最も力がついたと実感するものは何ですか



両学科とも、「専門知識・技術」、「コミュニケーション力」が上位にあがった。別途実施している卒業生の就職先調査において、「コミュニケーション力」に対するニーズが最も高い。日常的な授業におけるアクティブラーニング（グループワーク・プレゼン等）の充実が効果的であった。

#### 4. 2年間最も力をいれて取り組んだことや成長したと実感できることを教えてください。（抜粋）

- この2年間で私が成長したことは、周りの人達と協力する協調性と、コミュニケーション能力です。どちらも高めることができました。
- 実習に力を入れました。最初は慣れない環境で戸惑いつつも、保育者の方からのアドバイスを活かし、実習を重ねる度に責任感、行動力、協調性が身に着いたと思います。
- 2年間の中で、特に指導案の書き方や日誌の書き方に力を入れて取り組みました。自分自身が成長したと実感したことは、苦手な人の前に立つ機会を授業や実習などで多く経験したことによって、少し自信を持って取り組めるようになったことです。
- 実習を通して子どもと実際に触れ合い、その大変さや楽しさを感じて、理想の保育士に近付けた。
- 何事に対してもすぐに諦めずに最後までやり遂げる力が身についたと思う。
- 諦めが早いことが短所だったのですが、ゼミなどの活動を通して、前に立って最後までやりきることができてより大切さを学びました。
- 調理学研究部でさつまいもの栽培からパウンドケーキ作り、農業祭などさまざまな体験を通して紅赤についてや協力して作業をすることの大変さややりがいを学びました。
- 2年間で様々な実習を行い、その中で協力することの大切さを学ぶことができた。
- 初めてやることやできないことにも積極的に取り組む力が伸びたと思います。
- 卒業研究発表会に向けて、卒業ゼミのグループとテーマについて、実験や個人論文・発表準備など、協調性をもち相談にのる行動やコミュニケーションをとれて達成感を味わえました。
- 専門知識を身につけることにより、栄養管理に力を入れることが出来たこと
- 計画を立てて段取り良く課題に取り組む力が入学前よりも大分身に付いたと感じています。